※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和５年度　地理歴史・公民科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の地理総合」（帝国書院）・「標準高等地図」（帝国書院）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理に関わる様々な情報を知り、様々な問題を考えることによって、いま世界で起きている事柄を理解できるだけでなく、それらが自分につながっているということが理解できます。今後、あなたたちが社会人に成長していくのに必要な考える力を身に付けることを望みます。

地理総合で学ぶ知識は、単なる暗記では、今後の人生に活かせません。日々の生活の中で、ニュースなどで、自分以外に興味を持ち、調べるなどして学びを深めていきましょう。

２　学習の到達目標

・日本や世界の諸地域の多様な生活文化を通して国際理解の重要性や意義を学ぶ。
・地球的課題を生徒自身の生活圏に結びつけ，持続可能な社会づくりに参画する態度を養う。
・人間と自然の関係など、地理的な見方・考え方を働かせながら考察する。
・写真や図表などの資料の活用を通して思考力・判断力を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理学における事物・現象について、基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。また、諸資料から様々な情報を適切に得ることができる。	地理的見地からの現代の諸課題について、事実や概念などを活用して多面的・多角的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地理に関わる諸事象について，今後の人生における価値観を育み，自身の進路実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地図や地理情報システムと現代社会	1節　地球儀と地図 2節　地図と地理情報システム	a:地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 b:各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追及し、課題を見いだしている。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表
	結びつきを深める現代世界	1節　現代世界の国家と領域 2節　地図から見る国内や国家間の結びつき	a：世界を構成する国家の領域の定め方，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解している。 国家の領域や世界の国々の結びつき，交通，通信，人の移動の特徴を見いだすための，読図の技能を身につけている。 b：国家の領域はどのように定められており，どのような領土問題があるのかや，世界の国々はどのように結びついており，どのような交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的・多角的に考察し，表現している。 c：国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだしている。〃	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表

※令和４年度以降入学生用

	生活文化の多様性と国際理解	1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 5節 多様な生活文化と地理的環境	a:世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方、考え方を身につけている。 b:地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的多角的に考察し、表現している。 c:世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追及し、課題を見いだしている。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表
2	地球的課題と国際協力	1節　人口問題 2節　食料問題 3節　都市・居住問題 4節　感染症・衛生問題 5節　資源・エネルギー問題 6節　地球環境問題	a:地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互関係であることを理解しそれを見いだすための、地理的見方、考え方を身につけている。 b:地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追及し、課題を見いだしている。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表

※令和４年度以降入学生用

3	自然環境と防災	1節　日本の自然環境 2節　地震･津波や火山活動による災害と防災 3節　気象災害と防災 4節　自然災害への備え	a:自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災、減災への取り組みを理解しそれを見いだすための、地理的見方、考え方を身につけている。 b:どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災、減災への取り組みがなされているのかについて、多面的、多角的に考察し、表現している。 c:自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災、減災に向けた備えについて、主体的に追及し、課題を見いだしている。	ワークシート 定期考査	グループワーク 定期考査	発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度